

2. モモシンファイカ発生型の

年次変動に伴う重点防除時期の変更

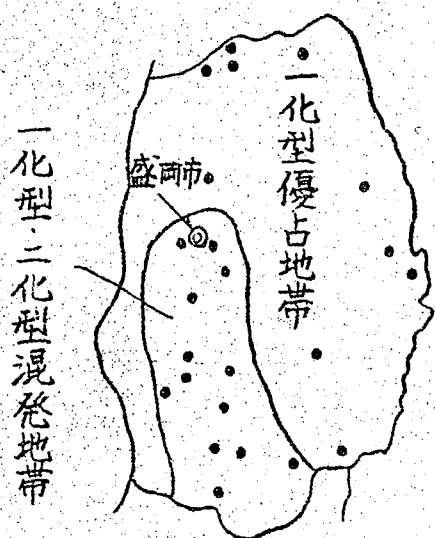
環境部

(1) 背景とねらい

昭和56年度指導上の参考事項で、モモシンファイカの発生活長と発生型による地帯区分を明らかにするとともに重点防除時期を示したところが、最近の異常気象の影響によって発生型に変化が起りつつあり、この傾向はなおしばらくは続くと予想されるので、それに応じて重点防除時期を一部変更したい。

(2) 技術内容

1) 発生型による地帯区分



地帯区分の境界等については変更はないが、各地帯の名称を下記のように変える。

- ・南部型優占地帯 → 1化型優占地帯
(以下1化地帯と略称する)
- ・南部型・津軽型混雑地帯 → 1化型・2化型混雑地帯 (以下混雑地帯と略称する)

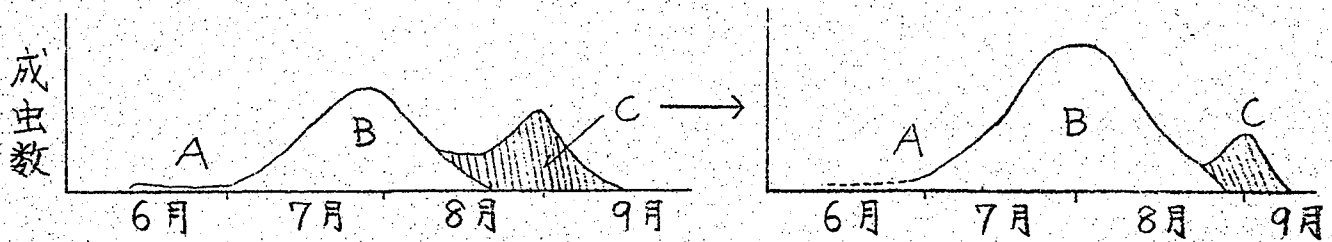
第1図 モモシンファイカ成虫の
発生活長パターンによる
地帯区分

・は調査地点を示す。

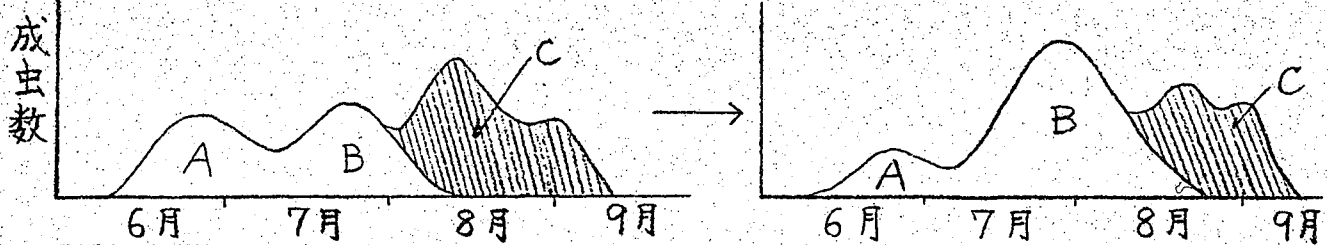
2) 地帯ごと発生消長およびその年次変化

○ 1 化地帯 (従前の発生消長)

(最近の発生消長)



○ 混発地帯



第2図 地帯ごと発生消長およびその年次変化

A: 2化型越冬世代成虫

B: 1化型成虫

C: 2化型第1世代成虫

3) 重点防除時期の変更

混発地帯における防除の最重点時期は、従来、2化型越冬世代成虫発生盛期にあたる6月下旬としてきたが、今後は1化地帯と同様に1化型成虫の発生盛期にあたる7月中~下旬とする。

(3) 指導上の留意事項

実際の防除時期を決定するにあたっては、病害虫発生予察情報を参考にするとともに、各園地における発生状況をフェロモントラップによって把握することが望ましい。

(4) 当該事項にかかる試験研究課題名

7. 果樹の病害虫防除
2. 主要害虫の生態と防除
2. モモシンクイガ

(関連課題)

病虫害発生予察事業

(5) 参考文献・資料

岩手県園芸試験場：昭和55年度園芸作物の害虫に関する試験成績書

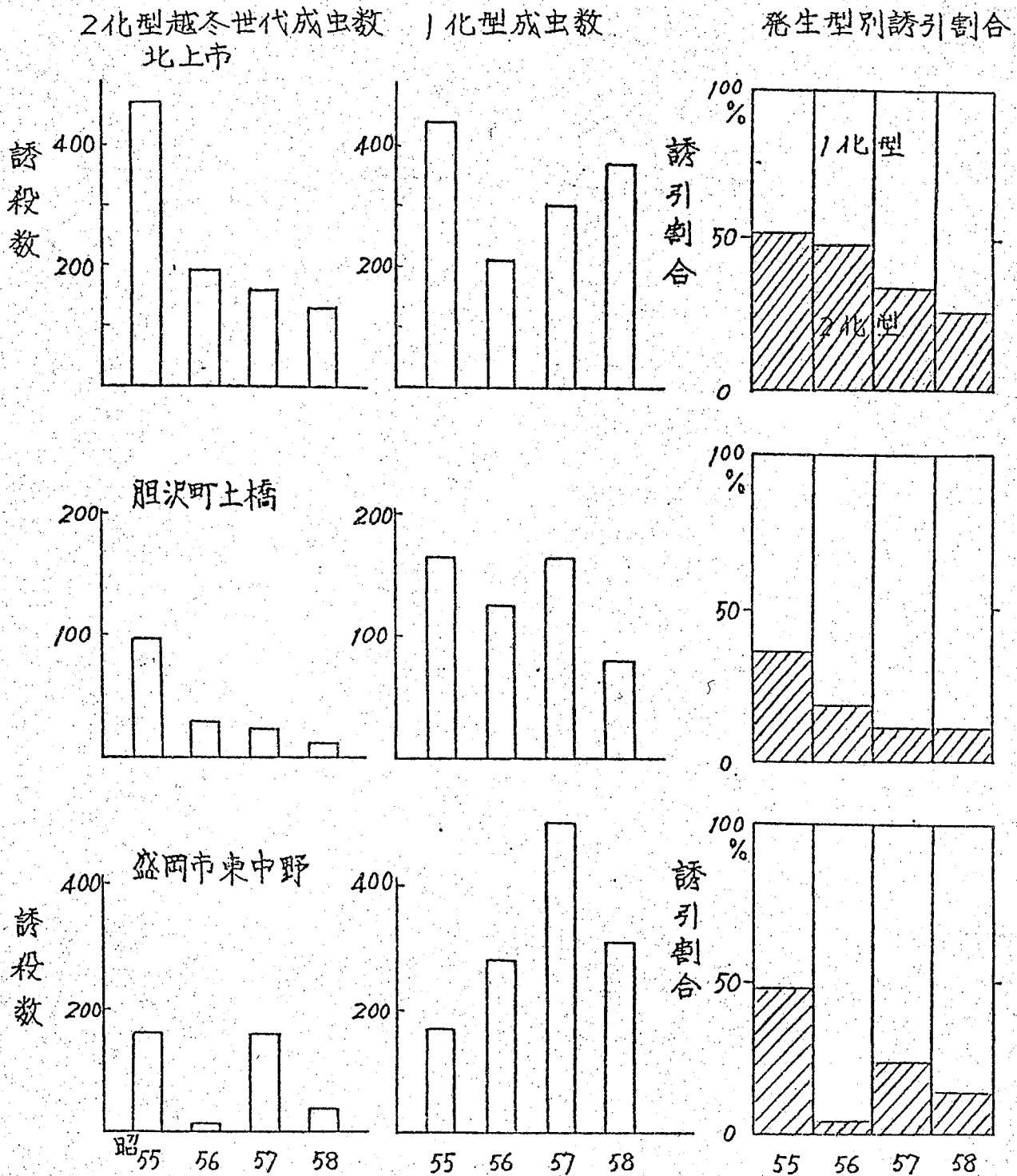
：昭和56年度普及奨励事項並に指導上の参項事項

：昭和56～58年度園芸作物の病虫害に関する試験成績書

：昭和55～58年度有害動植物発生予察事業年報

(6.) 試験成績の概要

1) 混発地帯における発生型別成虫誘引数および誘引割合の年次変動

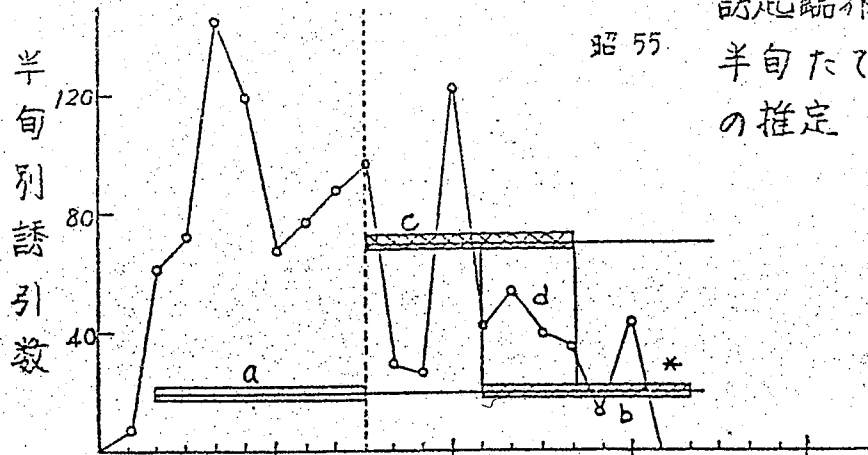


第3図 混発地帯における発生型別成虫誘引数および誘引割合の年次変動 (フェロモントラップによる)

2) 発生消長の年次変動およびその解析

有効積算温度および休眠

誘起臨界産卵時期（7月第3
半旬たての点線を示す）から
の推定

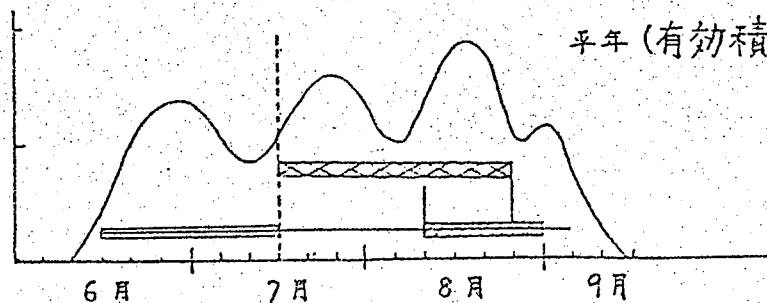
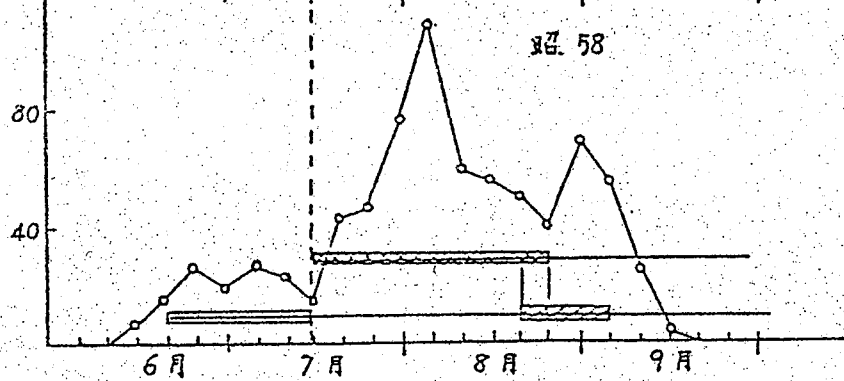
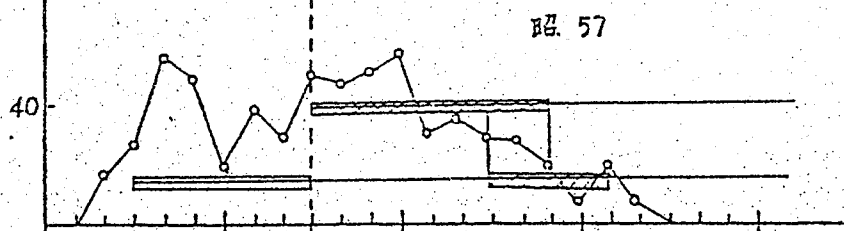
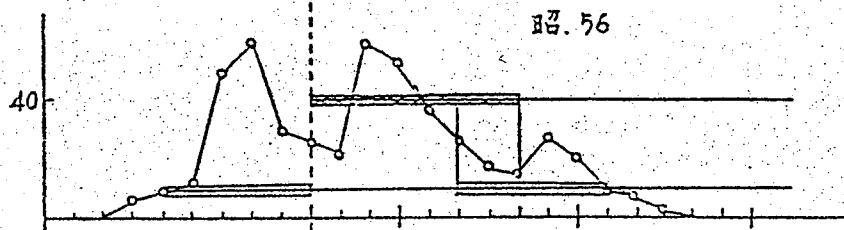


a: この時期産卵され
たものは羽化可能
b: 第1世代成虫羽化
時期（aで産卵さ
れたものの羽化期）

c: この時期に産卵さ
れたものは冬まゆ
形成可能
（休眠虫となる）

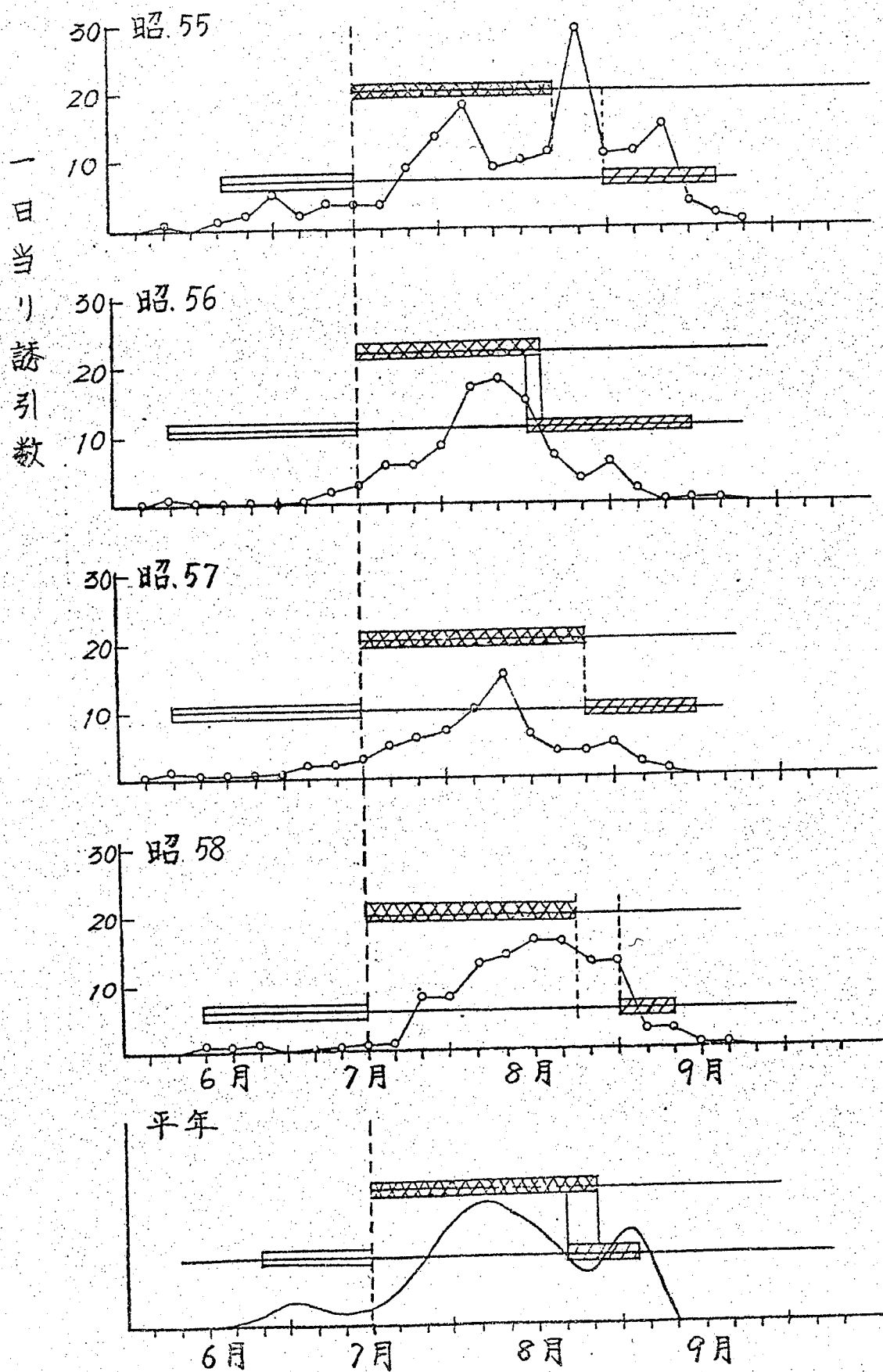
d: 第2世代冬まゆ形
成可能の産卵時期

* bのうち遅く発蛾
しcと重ならない
部分の子世代は有
効温量の不足によ
り越冬態まで発育
できない。



平年（有効積算温度による推定）

第4図 混発地帯（北上）における発生消長の年次変動
(31)



第5図 | 化地帯(宮古)における発生消長の年次変動
(32)